

## 爆風による被害① —建物への被害—

広島さくれつの原爆は、この建物の上空600mで炸裂しました。爆発によって発生した衝撃波の圧力は、爆心地から500mの所で1平方メートル当たり19トンに達するという強大なものでした。



### 廃きよとなった爆心地・島病院(広島)

爆心直下にあった島病院は、壁の厚さが1mもあったとされますが、原爆の威力には一たまりもなく、わずかに玄関周りの円形窓と丸柱だけが、かつての名残をとどめていました。

1945年11月ごろ  
爆心地 島病院  
米軍撮影  
広島平和記念資料館提供

長崎の爆心地から500mの距離にあった城山国民学校の鉄筋コンクリート3階建ての校舎は、被爆後しばらくはかろうじて骨格をとどめていましたが、爆風でもろくなっていたこともあり、その後の風雨などにより3階から崩れ落ちました。



### 城山国民学校(長崎)

爆心地からわずか500mの距離にあったこの学校では、1,400余名の児童、31名の教職員、105名の学徒報国隊員等が亡くなりました。

1945年  
爆心地から500m  
米軍撮影  
長崎原爆資料館提供